



NO.1423

7月16日号

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三二一四四五八
F四三二一四四五七

松浦議員の一般質問 (その3)

『どっこバス』

一律300円に!

3項目めは、どっこバスについてです。

松浦 利用状況への市の評価について伺う。

観光商工部長 持続可能な公共交通、地域に最適な交通ネットワークの構築を目指す上でも、どこバスの利用者が年々増加している状況は交通手段として認識されている。

松浦 料金を500円に設定した基本的な考え方を伺う。

観光商工部長 市街地の路線バス運行区間と重なること、運行収益やハイヤー料金との兼ね合い、さらにはどこバスの利便性を考慮して決定した。

松浦 それにしても



観光商工部長 本年の本格運行における整理する中でバス事業者と協議をして決めた。市街地からの距離的要素を重視しBエリアとした。今後湖の口地域にお住まいの方からの要望があった場合は、エリア境界の変更も含めてバス業者と協議する。

松浦 大曲地区の湖の口はBエリアになっていて、同じ大曲住民でありながら料金が700円と高いのは不公平だとの声があるが、どのような判断か。

松浦議員は、大曲の日産自動車(Aエリア)から湖の口(Bエリア)まで700円しか離れていないのに、料金が違うことには理解できないとして、引き続き求めていくと云っています。

反戦平和を 101年

日本共産党は1922年7月15日に結成され、今年で101周年となりました。天皇の言うことは絶対の時代、命がけで国民主権、戦争反対を訴えたのは日本共産党だけでした。そして、戦後新

しい憲法には「二度と戦争をしない」と謳われました。

7月15日11時より駒場ベシック前、11時半よりエコセンター前にて街頭宣伝を行います。ぜひ、応援を宜しくお願いいたします。



松浦委員の質問



「平和、命、くらしを壊す大軍拡、大増税に反対する」請願署名を保持して地域を訪問しました。後援会のみなさんを中心に尋ねましたが、岸田自・公政権の大軍拡、大増税の政治に対して、「こんなことをしていたら戦争になるのではないかと心配している。それより国民の暮らしのことを考えてほしい」など、軍拡への危機感と暮らしを良くしてほしいという願いの声が聞こえました。

今、政治は何をなすべきかが鋭く問われているのではないのでしょうか。アメリカ言いなりの大軍拡を進めて平和が守られるのか。歴史を見れば、軍拡で平和が守られたことはなく、必ず戦争へと繋がってきたのが人類の歴史です。また、財界・大企業のもうけ最優先の政治をしています。日本共産党は、この二つのゆがみに正面から切り込み、「国民が主人公」の日本へ政治を「もとから変える」党です。この党を伸ばしてこそ、国民の切実な願いを実現する道が開かれます。お力をお貸しください。

村や野が



先日、まちのことを話そう会に参加してきました。今回も若いお母さんや学生、地域おこし協力隊員、お母さんお父さん、退職した人など15人ほどの参加でした。

1人のお母さんから「オーガニックの野菜を子どもたちに食べさせたい。給食で実現できる可能性は網走にあるだろうか」との声がありました。千葉県などでは無農薬の野菜やお米が給食で使われています。

網走の学校給食では、地元の野菜はあまり使われていない。道内の野菜がほとんどです。私も議会で「地元野菜をもっと学校給食に使えないか」と質問したことがありましたが、畑作3品を中心にした大規模農業が進んでいて、野菜をつくるのは難しいとの回答でした。新規就農者は年1件ほどです。しかし、昨年のアンケートでは野菜作りをおぼえたいという若者もいました。作る人を増やす取り組みを市が本気になればオーガニック野菜給食を実現することは可能だと思います。

流水

6月25日常盤地区住民センターで北見生活と健康を守る会の第18回定期総会と

交流会がありました。毎月の「何でも相談会」の様子報告されました。2ヶ月で10万円の国民年金で、一人暮らしの80代の高齢者の方の生活実態が報告されました。「公住家賃や国民健康保険料(後期高齢者国保)の減免もせず(知らない、知らせない)に、わずかな貯えも底を尽き、風呂、食費、灯油代の支払いに苦労している」「行政の窓口は敷居が高く行けない。自宅も車もないけれど、お国の世話になりたくない一念で税金を払ってきたので、いまさらと思ってきた▼憲法も無視、大金持ち優遇、強い企業がますます強く、貧乏人を踏みつけ、ごく一部の人が儲けをひとりじめする資本主義に鉄槌を下して「食べる年金をよこせ」「最低賃金上げろ」「軍備より生活優先」「うそとごまかし政治やめろ」▼怒りを力に変えて仲間を増やして運動を大きくつくっていきましよう。

北見生活と健康を守る会
副会長 神田 優